

# 麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

71

平成29年  
4月15日発行

医療法人 光臨会  
荒木脳神経外科病院  
Araki Neurosurgical Hospital

## 新年度ご挨拶

4月は桜の季節であり、日本が最も美しい季節です。同時に、一般的には新しい年度が始まります。光臨会荒木脳神経外科病院の会計年度は4月開始の世間一般の年度とは異なり、10月に始まります。4月は一般には新しい年度とはいいいながらも、私ども光臨会の職員にとっては下半期に入り、過去の上半期の業績を振り返り、志を新たにすして年度目標を達成するように、兜の緒を締める時でもあります。

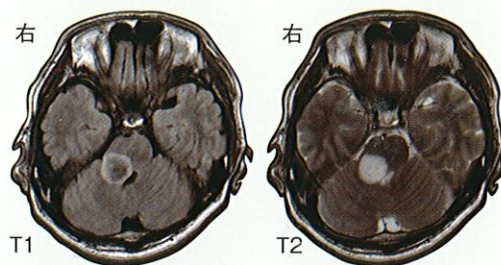
当院の今期の最大のトピックは何といっても平成28年11月稼働のGE社製3T MRIの追加導入です。既に設置されていたシーメンス社製1.5T MRI、フィリップス社製3T MRIと併せて、3T MRI2台、1.5T MRI1台の合計3台体制となり、画像診断は非常に充実しました。患者様への待ち時間も殆どなく、高画質の画像による画像診断が可能となりました。一方で、MRI3台による毎月の画像診断目標件数を1200件に設定していましたが、実際には利用が少なく低迷しています。利用件数は平成28年11月758件、12月748件、平成29年1月699件と設定目標数の半分強の状態が続いています。この最大の原因は、地域の医療機関からの画像診断依頼が予想より少ないことに起因しています。3T-MRIのような高額な医療機器は、それぞれの医療機関が簡単に設置できる装置ではありません。地域の医療機関に当院の高画質画像を提供できる3T MRIの存在をもっと知っていただき、理解していただき、利用していただくことが必要と考えます。このためには地域連携が重要であると思います。地域連携で最も大切なことは職員個人の接遇であると考えています。私どもは地域の先生方が気楽に当院の画像診断機器を使用していただけのように、当院へ紹介される患者様、御家族の方が快適に来院できるように、画像診断といえども当院を受診して良かったと思っていただけるように努めております。言葉遣い、電話対応、礼儀作法、服装などの接遇面で、職員一人一人の小さな努力の積み重ねが、地域の先生方の理解を得て大きな結果となり、画像診断目標が達成されと考えています。

当院では、個々の職員が同じ目標に向かって心を一つにし、光臨会荒木脳神経外科病院の親善大使となつたつもりで日々研鑽を重ねています。先生方が当院の画像診断機器を更に利用されることを切に願っています。

院長 沖 修一



GE社製 Discovery MR750w 3.0T  
GE Healthcare 提供



橋背側右側に発生した脳腫瘍症例

### もくじ

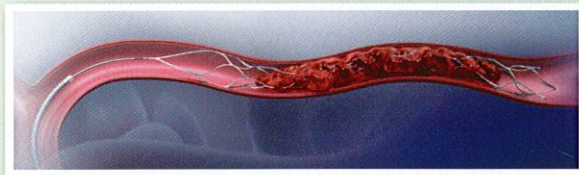
- 1 新年度ご挨拶
- 2 脳血栓回収術におけるチーム医療 — 血栓回収チームのご紹介 —
- 3 第9回広島救急カンファレンス開催報告  
新しいMRIの紹介
- 4 BLS（一次救命処置）研修を開催しました  
平成29年度 五福の会 健康・介護教室
- 5 連携医療機関のご紹介 — 西広島リハビリテーション病院 —



# 脳血栓回収術におけるチーム医療ー血栓回収チームのご紹介ー

医師をはじめとして様々な専門職が働く病院では、効率的で質の高い医療を提供できるよう、目的ごとにスタッフが集まり様々なチームがつくられ、「チーム医療」を行っています。今回は、当院でのカテーテルを用いた脳血管内治療、とくに「脳血栓回収術」におけるチーム医療をご紹介します。

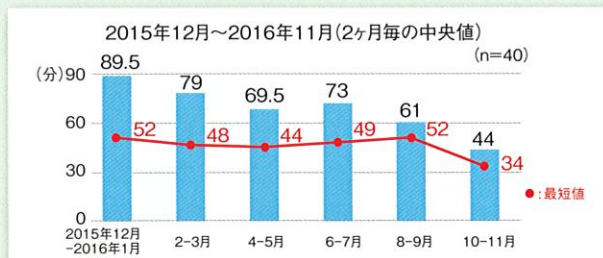
「脳血栓回収術」は、以前の麦の穂でも取り上げられたカテーテルを用いた治療です。近年、ステントリトリバーと呼ばれる血栓回収道具（図1）が開発され、脳の大血管が詰まった重篤な脳梗塞の患者さんでも、高い確率で再開通が得られるようになりました。



（図1）ステントリトリバー

「脳血栓回収術」を内科的治療に加えた場合、社会復帰率が約14%、自宅復帰率が約20%増加します（Goyal Mら, Lancet 2016）。またこの治療では、「来院から手術開始までの時間」が30分遅れるごとに、自宅復帰率が約7%ずつ減少します（Saver JLら, JAMA 2016）。この治療の成績を上げるためには、「時間短縮」が最も重要となります。

われわれは、「来院から手術開始までの時間」を短縮することを目的に、2015年11月より「血栓回収チーム」をつくり取り組みました。医師（脳血管治療専門医）、看護師、診療放射線技師、臨床工学技士などのスタッフが中心となり、臨床検査技師、薬剤師、事務員などと一緒に、時間短縮に向けた情報の共有化、業務の標準化を図りました。取り組み開始後、徐々に時間短縮が得られ、一年間で約半分の時間にすることができました（図2）。



（図2）来院から手術開始までの時間

この診療体制を維持していくことはなかなか大変ですが、それぞれのスタッフは「少しでも患者様がよくなってくれること」をモチベーションとして頑張っております。「血栓回収チーム」は、引き続きスタッフ間のコミュニケーションを大切にしてチーム力で頑張っておりまいますので、ご指導のほど宜しくお願いいたします。

脳神経外科・脳血管内治療科 部長 荒木 勇人



血栓回収チーム



## 第9回広島救急カンファレンス開催報告

平成29年2月14日（火）第9回広島救急カンファレンスが開催されました。このカンファレンスは、救急隊と当院との間で、安全でより円滑な救急搬送が行えるよう連携を深めることを目的に年2回程度開催しているものです。

当日の内容は次のとおりでした。

1. 開会の挨拶（院長 沖 修一）
2. 脳血管内治療血栓回収における治療成績の向上のための院内体制の整備について  
（脳神経外科・脳血管内治療科 部長 荒木 勇人先生）
3. 症例検討会

1) 庚午救急隊より症例提示「意識障害を呈する傷病者の搬送症例」

2) 当院より症例提示「突然の左半身の麻痺がある傷病者の搬送症例」

上記2例について症例提示があり、救急隊からは、救急隊が現場に到着した時の患者の状態や処置内容、当院到着までの時間経過について報告があり、当院からは治療経過について報告を行ったうえで、搬送病院の選定方法や重症度・緊急度判断に関する質疑など大変活発な意見交換が行われました。

今後も連携強化を認識したカンファレンスを行い、救急搬送に役立たいと考えております。

事務部長 松下 督克



第9回広島救急カンファレンスの様子

## 新しいMRIの紹介

平成28年11月に最新機種3.0T MRI（GE社製）を導入をしました。

今回新しく導入したMRI装置は今までよりも開口部の径が10cm広がりしました。（従来のMRIでは開口部が直径60cm新機種では直径70cm）たった10cmと思われるかもしれませんが、入ってみると以前よりすいぶん広く感じられると思います。

そしてMRI検査で生じる大きな騒音もなくすることができサイレントMRA撮影（通常のMRI検査では工事現場のような大きな騒音が生じます）が可能となりました。

さらに一度の撮影で多くの種類の画像が得られるMAGIC（通常では3種類の画像を得るのに10分ほどかけていたものがMAGIC撮影により5分で撮影が行えます）を導入いたしました。

今後はMRI検査で弱点だった長時間の撮影や騒音問題も改善されて患者様本位の検査を行ってまいります。

検査部診療放射線科 出海 弘章



新しく導入されたMRI



検査風景



## BLS(一次救命処置)研修を開催しました

平成29年1月26日(木)、27日(金)、28日(土)に、当法人の全職員を対象に『BLS(Basic Life Support)研修と、AED(Auto External Defibrillator、自動体外式除細動器)の取り扱い説明』の研修会が開催されました。

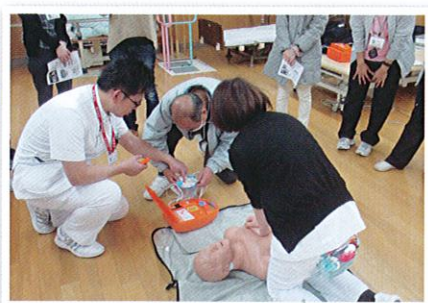
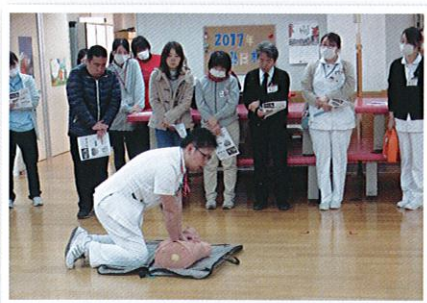
BLSとは、呼吸が止まり、心臓も動いていないと見られる人に対し、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当の事です。胸骨圧迫と人工呼吸からなる心臓蘇生法(CPR)、そしてAEDの使用が主な内容となります。

AEDは、心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)の心臓に対し、電気ショックの必要性の有無を判断し、正常なリズムに戻すための医療機器です。AED自体に特別な医療行為は必要とせず、一般の方も容易に取り扱う事が出来ます。

当日は医師、看護師よりBLSの概要、AEDの操作について講義があり、大変有意義な研修となりました。

医療従事者として、緊急時の場面に遭遇しても適切に対応できるよう、今後も研鑽に励みたいと思います。

リハビリテーション科 大下 勇弥



## 平成29年度 五福の会 健康・介護教室

平成29年度も五福の会 介護教室・健康教室を開催します!

五福の会 介護教室・健康教室は、地域の方や入院中の患者様、ご家族の方を対象に皆様の健康についての意識を高めて頂くことを目的に開催しています。脳卒中やその予防法、関連する疾患について、また、自宅で介護するための知識・技術の向上や介護予防について等をテーマに開催しています。

皆様のご参加をお待ちしております。平成29年度の年間のスケジュールについては、以下の通りです。

|                  | テーマ                            |                     |
|------------------|--------------------------------|---------------------|
| 4月22日(土) 12:30~  | 生活習慣を考えよう<br>~自分の身体のこと知っていますか~ | 看護師                 |
| 5月24日(水) 13:00~  | めまいについて                        | 医師                  |
| 6月24日(土) 12:30~  | 健康な食事でいきいき生活しよう!               | 管理栄養士               |
| 7月26日(水) 13:00~  | 脳卒中予防について                      | 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 |
| 8月26日(土) 12:30~  | 薬の正しい知識・飲み方                    | 薬剤師                 |
| 9月28日(木) 13:00~  | 認知症について                        | 医師                  |
| 10月21日(土) 12:30~ | 福祉用具に関するお話(仮題)                 | リハビリ部               |
| 11月22日(水) 13:00~ | 脳卒中の基礎知識(予定)                   | 医師                  |
| 12月23日(土) 12:30~ | 認知症の方との上手なかかわり方(予定)            | 関連事業部               |

※内容・日付については変更する可能性がありますのでご注意ください。

※お問い合わせは、地域連携室(tel 082-272-1130) までお願いします。





## 西広島リハビリテーション病院

住 所：〒731-5143 広島市佐伯区三宅6-265

T E L：082-921-3230（代表）

診療科目：リハビリテーション科／内科／整形外科／脳神経外科

院 長 名：岡本隆嗣

病院URL：http://www.welnet.jp

3病棟139床全てが回復期リハビリテーション病棟

※ 回復期リハビリテーション病棟とは、日常生活動作の能力向上による寝たきり防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行うための病棟です。



院長 岡本 隆嗣先生



西広島リハビリテーション病院は、昭和61年(1986年)に「信じあい 明日を拓(ひら)く」という理念のもと、当時ではまだ珍しかった「都市型のリハビリテーション病院」として開院いたしました。現在、3病棟139床全てが回復期リハビリテーション病棟であり、365日高密度な入院リハビリテーションが行える体制をとっております。

病棟では、内科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科など様々な専門領域を身につけた医師(うち4名はリハ科専門医)が中心となり、看護師・介護士、リハビリテーションスタッフだけでなく、管理栄養士や臨床心理士、薬剤師、医療相談員などがチームを組み、『運動機能の向上』『日常生活動作の向上』『社会復帰』を目指し取り組んでおります。

また、退院されてからも、ご自宅での生活を『切れ目なく』サポートし、『安心して』地域生活を送って頂くために、短時間型通所リハビリテーション、訪問リハビリテーション、老人保健施設の入所・通所リハビリテーション、といった関連施設も併設しております。自宅退院が難しい方に対しては、医療・介護施設の紹介など、病棟に配置された医療相談員が中心となり、入院時からきめ細かくお世話致します。地域の皆様に向けての情報発信にも力を入れており、2016年11月には、開業30周年を記念して患者・家族向けの手引書「知って役立つリハビリのお話」を出版いたしました。

荒木脳神経外科病院とは医療機関としての連携だけではなく、「広島県回復期リハビリテーションの会」でも互いに協力をしております。今後も連携を密にして、地域に根ざしたリハビリ医療を提供していきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。





医療法人光臨会 理念

- 一、皆様に安心していただける、  
全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 一、脳神経外科としての専門性を軸に、  
幅広い診療体制で地域医療に貢献します  
一、急性期医療の中核病院として、  
高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

1. 「医療の原点は救急である」  
2. 快適な療養環境と接遇の提供  
3. チーム医療の推進と相互啓発  
4. 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が  
次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に  
基づいた医療を行います

1. 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
2. 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
3. 医療に関して知る権利を尊重します
4. 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
5. 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
6. 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
7. 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

1. 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
2. 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります。



平成29年4月1日～

外来担当医表

|                        |    |        | 月                  | 火          | 水                | 木              | 金       | 土           |
|------------------------|----|--------|--------------------|------------|------------------|----------------|---------|-------------|
| 脳神経外科                  | 午前 | 初診(1診) | 主任部長 茨川            | 診療部長 荒木(男) | 院長 沖             | 院長 沖           | 副院長 江本  | 広大          |
|                        |    | 初診(2診) |                    | 中原         |                  |                |         |             |
|                        |    | 再診(2診) | 院長 沖               | 太田         | 診療部長 荒木(男)       | 主任部長 茨川        | 医長 谷    | 医長 谷        |
|                        | 午後 | 初診(1診) | 診療部長 荒木(男)         | 医長 谷       | 広大               | 太田             | 太田      | 広大          |
|                        |    | 再診(2診) | 副院長 江本             |            |                  | 主任部長 茨川        | 副院長 江本  |             |
|                        |    |        |                    |            |                  |                |         |             |
| 脳神経内科                  | 午前 | 4 診    |                    |            |                  | 青木             |         |             |
| 総合診療<br>(内科・外科)        | 午前 | 3 診    | 診療部長 藤井<br>診療部長 野村 | 診療部長 藤井    | 診療部長 藤井          | 診療部長 藤井        | 診療部長 藤井 | 診療部長 渡辺     |
|                        | 午後 | 4 診    | 診療部長 渡辺            | 診療部長 渡辺    | 診療部長 渡辺          | 診療部長 野村        | 診療部長 渡辺 | 診療部長 野村     |
|                        | 午前 | 検査     | 診療部長 渡辺            |            | 診療部長 渡辺          | 診療部長 野村        | 診療部長 渡辺 |             |
|                        | 午後 | 検査     |                    |            | 診療部長 野村          |                |         |             |
|                        |    |        |                    |            |                  |                |         |             |
| 脳神経外科<br>形成外科<br>消化器内科 | 午前 | 5 診    |                    |            | 北野病院(形成)<br>※ 平本 | 理事長 荒木<br>(再診) |         | 消化器内科<br>井上 |

診察時間

◆完全予約制

午前 9 時～12 時

(初診受付：午前 11 時 30 分迄)

午後 3 時～6 時

(初診受付：午後 5 時 30 分迄)

救急は 24 時間受付けております

※形成外科

平本 道昭先生(北野病院 形成外科)

毎月第 2 水曜日(午前中のみ)

井上名誉教授

毎月第 2 土曜日

医療法人光臨会

荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7

TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048

E-mail info@arakihp.jp

ホームページアドレス http://www.arakihp.jp

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 8-7

TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

デイサービス あらき

〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

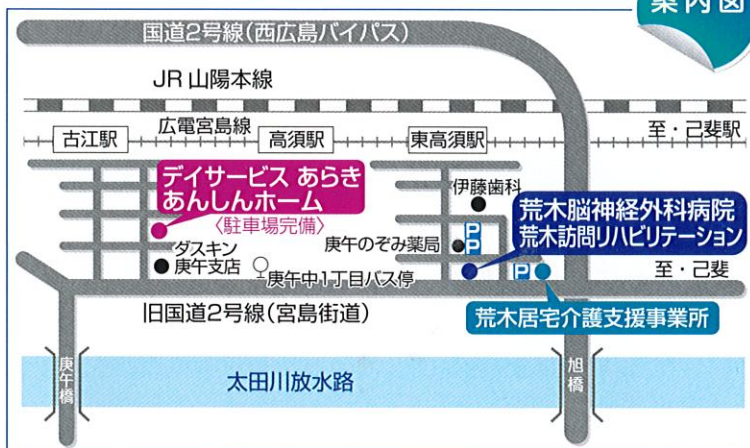
〒733-0822 広島市西区庚午中 2 丁目 11-15

TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0821 広島市西区庚午北 2 丁目 1-4-201

TEL 082-507-6300



交通案内

○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より  
宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前

お知らせ

4 月より病院ホームページをリニューアルしました。ぜひご覧ください。